

肝細胞癌肉眼分類とアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の治療効果に関する 検討

1. はじめに

神戸大学医学部附属病院肝胆膵外科では、2020年10月01日～2023年03月31日の間にアテゾリズマブ・ベバシズマブを受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

神戸低侵襲がん医療センター肝胆膵外科も本研究に協力しております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

2. 研究概要および利用目的

- 神戸大学医学部附属病院肝胆膵外科および神戸低侵襲がん医療センター肝胆膵外科では、切除不能肝細胞癌を有する患者さんに全身薬物療法を行っております。現在、肝臓診療ガイドラインにおける薬物療法ではアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法が第一選択として使用されており、治療が奏功して局所治療不可能な状態から局所治療可能へ移行する、いわゆるコンバージョン治療が可能となる症例が散見されるようになってきました。ところが、アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の治療効果を予測する因子は現時点で明らかとはなっておりません。治療効果予測因子が明らかとなれば、コンバージョン治療を見据えた治療戦略を立てる上で大変有用です。そこで2020年10月1日～2023年3月31日のあいだに切除不能肝細胞癌に対してアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法を受けた患者様のデータをカルテから収集し、病変ごとの治療効果を分析することで、治療前の画像検査所見から治療効果の予測ができるかどうか検討する方針といたしました。

4. 研究期間

この研究は、研究機関の長による研究実施許可日から2025年3月31日まで行う予定です。

5. 研究に用いる情報あるいは試料の項目

以下の項目について、既存の情報を取得する。

- 患者基本情報:年齢、生年月日、性別、PS、既往歴、肝細胞癌の治療歴、有害事象、肝細胞癌の原因(HBV、HCV、NBNC)、アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法導入日・導入場所、増悪日、生死、生死最終確認日、アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の施行line
- 治療前の血液検査:血小板、総ビリルビン、アルブミン、PTINR、AFP、PIVKA-II、Child-Pughスコア、mALBIスコア、ALBIスコア
- 治療前の画像検査(造影CT検査、EOB-MRI検査):腹水の有無、腫瘍の肉眼型、肝内病変の大きさ、肝内病変の個数、遠隔転移の有無と部位、脈管浸潤(Vp・Vv)の有無、EOB-MRI検査における信号強度(signal intensity)
- 治療開始後の画像検査(造影CT検査、EOB-MRI検査):最良効果が得られた時の腫瘍径、治療効果判定(RECIST ver1.1)、対象病変の奏効確認日と増悪日

既存情報の利用開始時期

2023年12月1日

6. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

神戸大学医学部附属病院 肝胆膵外科 研究責任者:福本 巧、機関長の氏名:真庭 謙昌

既存試料・情報の提供のみを行う機関

神戸低侵襲がん医療センター 小松 昇平、機関長の氏名:藤井 正彦

7. 外部への情報あるいは試料の提供・取得の方法

カルテより4項に記載した項目を、メールにて神戸大学大学院医学研究科外科学講座肝胆膵外科学分野へ提供されます。CTやMRIなどの画像データはCD-RやDVDに保存して郵送にて提供されます。

8. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科外科学講座肝胆膵外科学分野の鍵のかかる保管庫に保管します。

9. 情報あるいは試料の保存・管理責任者

この研究の保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学医学部附属病院肝胆膵外科 研究責任者:福本 巧

神戸低侵襲がん医療センター肝胆膵外科 小松 昇平

10. 研究へのデータ提供による利益・不利益

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

11. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました試料や情報は、研究期間中は神戸大学大学院医学研究科外科学分野肝胆膵外科学講座において厳重に保管いたします。ご提供いただいた試料や情報が今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き神戸大学大学院医学研究科外科学分野肝胆膵外科学講座で厳重に保管させていただきます。(保管期間は最長で10年間です。)

なお、保存した試料や情報を用いて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し病院のホームページに掲載します。

ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄(データの削除、印刷物はシュレッダー等で処理)いたします。

12. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

13. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めに希望されたとき、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、取り止めに希望されたときにすでにデータが匿名化されていたり、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合もあります。

14. 研究に関する利益相反について

本研究の研究者はこの研究に関連して開示すべき利益相反(COI)関係になる企業などはございません。

15. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸低侵襲がん医療センター 肝胆膵外科 担当者:小松 昇平

神戸低侵襲がん医療センター 治験・臨床研究支援センター 担当者:谷川 慶輔

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 8-5-1

078-304-4100

神戸大学医学部附属病院 肝胆膵外科 担当者:福本 巧

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-2

078-382-6302